

ユニセフカップ 2011 芦屋国際ファンラン

2011年4月10日

実施レポート

東日本大震災被災者救援レース 芦屋国際ファンランに特別協賛

1984年にはじまった「ユニセフカップ2011芦屋国際ファンラン（主催／サンケイスポーツ、産経新聞社）」が2011年4月10日（日）、兵庫県芦屋市で開催されました。本大会のテーマは「教育を世界すべての子どもたちに！」から「東日本大震災被災者救援」に変更して開催され、日本ハムは特別協賛で参加しました。会場には「がんばれ日本、がんばれ東北」と書かれたゼッケンやTシャツを着た参加者も多く見られ、「芦屋から希望と勇気を届けよう！」という言葉を胸に昨年より多い約8,900名のランナーが参加しました。

毎年好評いただいているチャリティーフードショップには日本ハムグループ従業員約40名が参加し、新あらびき・森の薫りウインナーを使ったミニホットドッグやマルゲリータピザ、バニラヨーグルト（日本ルナ）などが提供され、売り上げの一部は（財）日本ユニセフ協会に寄付されました。

会場となった芦屋浜は満開の桜に包まれ、小さなお子様からお年寄りまでたくさんの方々が訪れ多くの支援が集まりました。



大会当日はファミリー3kmや男女10km、男女ハーフマラソンなど全9種目が開催されました。



チャリティーフードショップでは、マイスターレシピのソーセージ盛り合わせやチキチキボンなども大好評。



入賞者へは、国産自社農場でつくられた「美ノ国」の骨付きハムや、「北海道プレミアム」シリーズのハム・ソーセージ詰め合わせなどが贈呈されました。



日本ハム（株）近畿圏量販部木綿部長より、（財）日本ユニセフ協会へ寄付金を贈呈しました。